

秋田を学ぶ・秋田ふるさと講座

『あきたの昔ばなし』

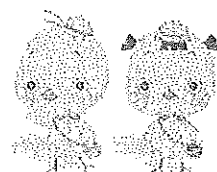
聞いたことある!?

～ 笑い話や

しつけ話 ～



講演スケジュール



令和6年7月27日(土)

10:30～12:00(受付:10:00～)

仁井田コミュニティセンター(予定)

にて開催!!

見たい人、聞きたい人は

申込・問い合わせ先

◇対象

子どもから一般の方
～ご家族どうぞ!～

◇申込締切

開催予定日の一週間前の土曜日まで
締切以降はお問い合わせください。

◇資料代: 一人100円

地域マイスター やどめ 事務局

TEL: 090-2990-8569

※不通の際は、当団体スタッフの個人電話の連絡
をお待ち頂くか、お時間を空けてお掛け直してください。

HP:

<http://akitacitytiikimaisutayadome.web.fc2.com>

下記QRコードからもお申し込みOK!



聞かせてえな～
見せてえな～
おもしろ～



参加される方は、事前の申し込みをお願いいたします。
会場内では、検温とマスクの着用の協力をお願いします。

今後の開催予定 ウラ面へ→

| 年 月 日 | 場 所 |
|------------|------------------|
| 令和6年11月30日 | 東部市民サービスセンター（予定） |

講座では、こんなお話が聞けるよ！

掲載しているお話は、あくまでも一例となっております。

講座では、違うお話も沢山聞けますよー！

『三枚のお礼』のあらすじ

ある山寺のやんちゃな小僧が、和尚さんをお願いして山へ栗拾いに行かせて貰うこととなった。

和尚さんは、山姥が出たら使うようにとお礼を三枚出して小僧に渡す。小僧は山で栗拾いに夢中になって、すっかり日が暮れてしまった。心細く思っているところへ、ひとりのお婆さんが現れた。お婆さんは、小僧の拾った栗を茹でてやるといい、家に呼んだ。

お婆さんが山姥だと気づいた小僧は小便がしたいと言うと、山姥は逃げられないように縄をつけて便所に行かせた。小僧は縄を解き、お礼を自分の身代わりに返事をするように命じて、便所の窓から逃げ出す。

それに気づき追いかける山姥に、二枚目のお礼で大水を出し、山姥を流そうとするも、山姥は大水を全部飲み込んでしまった。三枚目のお礼で今度は火の海を出す。山姥は先ほど飲み込んだ大水を吐き出して火を消してしまう。

ようやく小僧がお寺にたどり着いたときは、山姥はすぐ近くまで追ってきていた。しかし和尚さんはなかなか戸を開けてくれない。小僧はやっとのことで戸を開けてもらい、部屋の中に隠れる。山姥がやってきて和尚さんに小僧をどこにやったかと訪ねると、和尚は自分と技比べをして勝ったら教えてやるといい、山姥を豆粒ほどの大きさにする。と餅でくるんで食べてしまった。